TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

これが神のやり方-神さまが計画された救いの方法
新しい霊によって仕える　ローマの信徒への手紙 7 章 1 節-6 節

2026 年 10 月 17 日 &18 日
余沢 武　牧師

I. はじめに

皆さん、こんにちは。ローマの信徒への手紙で、私たちは皆、神に背いて罪を犯してきましたが、イエスが私たちの罪の罰を引き受けてくださりました。そしてそれを信じることによって私たちは義と認められ、赦され、イエスと共に死に、共に葬られ、共によみがえり、イエスと共に新しい命を生きるのです。

① 私たちはもはや律法の下に生きるではなく、恵みの下で生きるのです。
② 私たちはもはや「罪の奴隷」ではなく、「義の奴隷」となるのです。
③ しかしなぜ、神ご自身が与えてくださった律法の下に私たちはもはやいないし、神の罰について心配しない、と言えるのでしょう？ 今日はこの問いについて考えていきます。まず、お祈りしましょう。

II. 新しい霊によって仕える

(1) 律法が人を支配するのは、その人が生きている間

ローマの信徒への手紙 7 章 1 節を開きましょう。こう書かれています。「[1] それとも、きょうだいたち、私は律法を知っている人々に話しているのですが、律法とは、人を生きている間だけ支配するものであることを知らないのですか。」

パウロによれば、私たちがもはや律法の下にいない理由は、「律法とは、人を生きている間だけ支配するものである」からです。

2-3 節「[2] 結婚した女は、夫の生存中は律法によって夫に結ばれているが、夫が死ねば、夫の律法から解放されます。[3] ですから、もし夫の生存中、他の男のものになれば、姦淫の女と呼ばれますが、夫が死ねば、その律法から自由な身となり、他の男のものになっても姦淫の女とはなりません。」

旧約聖書の律法には、「結婚した女は、夫の生存中は律法によって夫に結ばれている」とあります。「もし夫の生存中、他の男のものになれば、姦淫の女と呼ばれます」律法違反です。しかし「夫が死ねば」そして他の男のものになっても「姦淫の女とはなりません。」

要点は明らかです。神の律法は人が生きている間、その人を支配します。その人が死んだ瞬間、律法から解放されます。婚姻関係は解消され、妻は夫の権威から解放されます。彼女は他の人と結婚して新しい夫の権威の下に入ることができるのです。

(2) あなたがたは死者の中から復活させられた方のもの

4 節「[4] それと同じように、きょうだいたち、あなたがたも、キリストの体によって、律法に対して死んだのです。それは、あなたがたがほかの方、つまり、死者の中から復活させられた方のものとなり、私たちが神に対して実を結ぶようになるためなのです。」

パウロの説明をたとえで言うなら、私たちはかつて律法と結婚していたようなものでした。しかし私たちはイエスを信じたときにイエスと共に死んだので、「律法に対して死んだ」のです。

私たちがイエスと共によみがえったとき、「死者の中からよみがえられた方」のものになったのです。
一つの点について比喩的に言えば、私たちは皆かつて律法と結婚し、律法の権威の下にいました。律法に従う必要があり、また律法によって裁かれる立場にありました。しかし、イエスが私たちの罪の罰を引き受けてくださったと信じたとき、私たちはイエスと共に死に、律法から解放され、イエスの権威の下に入ったのです。

しかし、なぜそうなったのでしょうか。4 節には目的が記されています。「神に対して実を結ぶようになるため」です。

人間である私たちは皆、正しいことをしたいと願っています。皆人を愛する者になりたいとも願っています。

しかし私たちは聖書、神の御言葉、律法を受け取った後も、たとえ努力しても、私たちはなれない、罪が深すぎるのです。だから「律法の下」にいるのです。

そしてイエスが来られ、私たちの罪のために死に、全く新しい命によみがえられました。私たちがイエスを受け入れるとき、私たちはイエスと一つになり、私たちもこの完全に新しい命をイエスと共に生きるのです。

初めて私たちは、「神に対して実を結ぶ」可能性と力を与えられます。つまり、神の聖なるご性質を身につけ、神が私たちを造られたときの人間になるのです。それは「イエスの下」にいるのです。

私たちの人生は完全に変わるでしょう。

私は学生時代、さまざまなスポーツをしていました。どんなスポーツであれ、夏休みには１週間ほどの夏合宿がありました。練習はとても厳しくて過酷なものでした。最終日には実践試合をして、自分たちの技術が大きく向上したことを実感できました。

これがどれほど素晴らしいことだとしても、クリスチャンになることは、これと同じではりません。クリスチャンになることとは、向上するとかアップグレードすることではなく、全く新しく変えられることなのです。

それはもっと毛虫のようなものです。自身は「蛹」の中に包まれて、変態がおきつつあります。それは化学的に自身が分解され未分化細胞となり、そして再び組み立てられて、何か全く違うものに---　蝶になります。

それはまだ同じ存在です、しかし全く違う生き物になるのです。私たちも同じです。クリスチャンになるとは、自分をグレードアップさせることではありません。全く新しい何かになることなのです。

これが「律法の下」にいることと「恵みの下」にいることの違いなのです。

私は子どもの頃から、アニメや映画に登場するスーパーヒーローが大好きでした。例えば、スーパーマンが大好きです。人間には到底かなわない、宇宙人としての超能力を持っています。

バットマンやアイアンマンもすごい存在ですが、彼らは少し違います。彼らは特別な能力を持っている普通の人間です。

でも、スパイダーマンやキャプテン・アメリカのようなヒーローには、また別の特別さがあります。彼らは私たち殆どと同じように特に目立つところもなく、弱さもありましたが、何らかの毒や特殊な血清を注入されるということが起きた人です。
彼らの体に何かが起こりました。彼らは超人的な存在へと変えられました。つまり彼らはまだ同じ本人でありながら、以前と同じ彼らではなくなったのです。彼らは完全に新しい被造物になりました。

私たちは神の聖霊によって完全なる変換を経験し、これによって今私たちは神に対して実を結ぶことが出来るのです。聖書によると、聖霊が私たちを神に対して実を結ぶことが出来る新しい神の民に変えることを、何事も止めることは出来ないのです。

私たちはもはや律法の下で生活したり、神の御言葉または神の律法に私たち自身の力や努力で、不可能に挑戦したりするようなことはないのです。私たちは今や神の恵みの下にいるのです。

イエスは私たちを律法から解放するために来られました。そのために、律法にはできなかったことが、今、私たちのうちに実現できるようになりました。聖霊が私たちの内に働いておられるように---

不道徳な人が、聖なる人へと変えられる。怒りっぽい人が、最も謙虚で穏やかな人へと変えられる。欲深い人が、最も寛大な人へと変えられる。お金の奴隷だった人が、信仰に生きる人へと変えられる。自分中心だった人が、最も愛に満ちた人へと変えられる。

5～6節には、こうあります。「[5] **私たちが肉にあったときは、律法による罪の欲情が五体の内に働き、死に至る実を結んでいました。[6] しかし今は、私たちは、自分を縛っていた律法に対して死んだ者となり、律法から解放されました。その結果、古い文字によって**

ではなく、新しい霊によって仕えるようになったのです。」

「肉にある」とは、「罪に支配されている」、あるいは「律法の下で生きている」ことを意味します。

パウロによれば、違いは「聖霊による新しさ」と「律法の古い文字」にあります。後者は、モーセを通して与えられた旧約の律法を指しています。

イエスなしで律法の下にいたとき、神の命令は紙や石の板に書かれていました。しかし、聖霊をいただいた今、その命令は私たちの心に刻まれています。

イエスなしで律法の下にいたとき、私たちは自分の力と努力で神の命令を守ろうとしていました。しかし、聖霊をいただいた今、私たちは神の聖霊の力が働く領域の中で、聖霊の助けと共に神の命に従って生きていくでしょう。

一方は、私たち自身の人間の努力で外側から行おうとするものです。もう一方は、神の聖霊の力によって、私たちの存在の最も深いところから行われるものです。これこそが、クリスチャンとして生きるということなのです。
パウロは、**フィリピの信徒への手紙２章12節**後半で、こう語っています。**「恐れおののきつつ自分の救いを達成するように努めなさい。」**

どうして私にそんな不可能なことを求めるのですか？と思うかもしれません。しかしパウロは続けて、こう述べています。
「あなたがたの内に働いて、御心のままに望ませ、行わせておられるのは神であるからです。」（フィリピの信徒への手紙２章13節）

「神のために実を結ぶ」ことを私たちがしていない、しかし聖霊がなされているという時、そこには私たちが祈らなければならないことがあります。

私たちは恐れおののきつつ、QT（神様と過ごす聖書と祈りの時）で毎日祈りと聖書を読むことによって謙虚に神の下へ行き、神の導きと私たちを通して働いてくださることを願うのです。

あなたへの質問です

- 私たちのクリスチャンとしての歩みは、聖霊によって生き、実を結ぶ歩みでしょうか？
- それとも、律法、聖書に書かれた命令に従おうとする、パリサイ人のような歩みでしょうか？

この二つは、まったく違うものです。

クリスチャン生活とは「聖霊によって生きる」ことです。そのことを見失わないでください。もしあなたがこのような歩みをしているなら、次のことを覚えていてください。

私たちがまだ完全な者になっていなくても、私たちは非難されることはありません。私たちはすでに義と認められており、今は律法の下ではなく、神の恵みの下に生きています。私たちは聖霊の御計画の中にいるのです。

あなたがたの間で善い業を始められた方が、キリスト・イエスの日までにその業を完成してくださると、私は確信しています。（フィリピの信徒への手紙１章６節）

もしご自分が罪深い存在であると分かっていて、まだイエスをあなたの主であり救い主であると受け入れていないのならば、どうぞ今日イエスを受け入れてください。

是非、イエスの恵みによってあなたを完全に変えてもらいましょう。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

スモールグループ参加申込み

http://t-b-c.us/sgsu

オンライン献金

http://t-b-c.us/give

SG レッスンの PDF

https://gotbc.org/sg4226jp

TBC カレンダー
（TBC のスケジュールが確認できます）
https://tokyobaptist.org/calendar

奉仕者募集中！

1.日本語訳レイアウト&印刷

（女性 2 名募集）

英語のスキルは必要ありません。

・月 1 回、土曜日 16 時に TBC にて作業します。
今見ているこの紙を作成&印刷してもらいます。
ひな形があるので翻訳された原稿をコピーして貼り付け整え、印刷するだけの簡単な作業です。

*スキル：MS Word の操作ができる方。
*TBC の教会員であることが必須です。

2.礼拝メッセージ翻訳

・1 ケ月半～2ケ月に 1 度、自宅でできます。
スケジュールは都合に合わせて選べます。
英語と日本語が出来る方

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org

★クラス 210
スモールグループについて知ろう！
10 月 18(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

★クラス 401
人生の使命を発見する
10 月 25 日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 301 まで修了した、
TBCメンバーの方

全クラスの申し込み：
https://t-b-c.us/classes